



笑う門には 福来たる

(株)日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

夕雲

ゆたしはいつもひとりたから
 あたたかいひとのこころはふいと
 ほろりとする
 生きこいることかういしくなる
 暮らしていくことに力がでる
 今日あなをいふて帰るさの
 夕の空のきれいなこと
 近いかい虫まで大つてはないか
 ああわたしはもう
 郵心もなく欲もない
 丸くしずかに生きてゆきたい
 美しい人の美しい心にふれて
 こころみださず生きてゆきたい

坂村真民記念館 (砥部町)

明朗・愛和・喜働

日常の恵み

道端や畑によく生えている草で、雑草として扱われがちな「なすな」という植物があります。実が三角形で三味線のバチに似ていることから「三味線草」や「撥草」、さらには「ぺんぺん草」とも呼ばれるアブラナ科の一年草です。なすなは栄養価が高く、春の七草粥のひとつとして親しまれているほか、漢方薬としても利用されています。その生命力の強さは折り紙つきで、強欲な人が通ったあとには「ぺんぺん草も生えない」と椰揄されるほどです。

また、芭蕉が「よくみれば薺花咲く垣ねかな」と詠んだように、どこにでもあつたため目に入りませんが、実は可憐な花を咲かせる存在でもあります。

私たちの日常にも、なすなのように、あたりまえすぎて価値に気づきにくいものがあるのではないのでしょうか。

水道や電気といった生活インフラはもちろん、靴や衣服も、なくなれば困ってしまう大切な存在です。人や仕事においても同じことがいえるでしょう。

私たちの生活を支えている存在に改めて感謝の気持ちを深めたいものです。

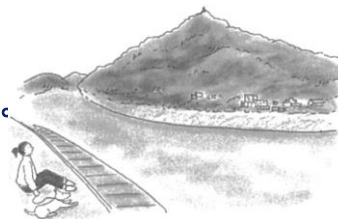
◆支える存在を大切にしましょう

「職場の教養」より

金華山 (岐阜県岐阜市)

戦国時代、斎藤道三が居城とし、のちに織田信長が落城させ天下統一の拠点にするなど、歴史の大舞台となった岐阜城(稲葉山城)。この城が建つのが、岐阜市中心部にある標高329mの金華山だ。城までは10の登山道が整備されており、比較的緩やかな七曲り登山道は約1.9km約1時間の道のりだ。岐阜公園と頂上付近を結ぶロープウェイからは金華山と長良川を眺めることも、岐阜城復元天守にある展望台からの眺めも絶景です。

日本再発見!



八木健の
山柳アート



反省から
向上が生まれる

